令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防出初式実施		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防体制の整備
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(一部委託)
担当所属	消防本部総務課		

事業概要	
事業概要	消防出初式は、岡崎市の消防職団員をはじめ防災関係者の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的に全国的に年初に開催しているもの。
対象	消防職団員及び防災関係者
手段	1月に乙川河川敷で実施する消防出初式で訓練、表彰、機械器具点検等を実施する。
意図・成果	消防出初式は、年頭に消防使命の自覚を新たにするため、岡崎市消防本部、岡崎市消防団等が一体となり実施するもので、消防機関の練成練磨を形として市民に広く披露する場であり、訓練や消防用資機材を始めとする消防力について市民に理解していただき、消防への信頼を深めていただく絶好の機会であり、消防職団員の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的としている。なお、平成25年消防出初式から式典中の災害発生を想定し、これまで以上に各地域における配備体制に万全を期すため、各地域ごとに消防団車両及び消防団員を計画的に待機させている。内容については、市長査閲、年頭の辞、来賓祝辞、車両分列行進、徒歩分列行進、一斉放水、救助訓練、表彰等を実施する訓練及び式典を合わせ持った活動であり、市民に対して火災予防の重要性を発信している。出初式は、消防機関の練成練磨を形として市民に広く披露する場であり、訓練や消防用資機材を始めとする消防力について市民に理解をいただき、消防への信頼を深めていただく絶好の機会であり、消防職団員の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的としている。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	消防団員参加者数 単位:人		650	820	650	800
	見学者数 単位:人		7000	10000	10000	7000
定性指標	2022年度達成結果	一斉放水等の実施で消防団員の士気を高めると共に、市民が消防車両と記念撮影できる機会を設け防災思想を普及できた。				
	2023年度達成結果	新たな試みとして出初式を式典と消防フェスタ(アトラクション)に分けて実施。消防フェスタではこれまでと同様に一斉放水や救助訓練を披露するとともに、車両分列行進においては子供達を消防車に乗せて実施し、消防団員士気を高め、ひいては市民の防火防災思想の普及を図ることができた。				
	2024年度達成結果	毎年11月に開催していた消防団連合観閲式との同時開催とし、消防団員の負担軽減につなげると共に、消防職団員の士気高揚及び市民の防災思想の普及を図ることができた。また、乙川右岸のメイン会場の他、今回は多目的広場に加えて乙川左岸でもイベントを開催し前年度並みの多くの市民が来場していた。				
	2024年度達成基準	11月に実施する消防団連合観閲式を、消防出初式との同時開催し、消防団員の士気高揚及び市民の防災思想の普及が図られている。				
	2025年度達成基準	岡崎城公園及び乙川河川敷一帯で消防出初・観閲式をはじめとしたイベントを開催することにより、多くの来場者が見込まれ、広く防火思想の普及を図ると共に地域の絆を深め、安心・安全なまちづくりの一步となっている。				
指標分析	天候が危ぶまれる中多くの市民に御来場いただき、災害現場でも必要な規律ある態度や行動を披露することにより、市民に消防業務についての理解と信頼を得るとともに、防災思想の普及宣伝を行うことができた。					

コスト	2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算	
	事業費等(単位:円)	3432196	3924930	4621455
	人員(単位:人)	0.4	0.45	0.65

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	消防出初式実施
担当所属	消防本部総務課

評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	3	4	4	4	2
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	1	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	自主防災支援		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部総務課		

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>地震等の大規模災害に限って、豊富な経験と知識・技術を活かせる消防職員及び消防団員のOBにより、消防署や消防団が行う活動を支援する岡崎市消防支援隊を編成し、その支援を行う。支援隊員は、岡崎市消防本部退職者及び岡崎市消防団退団者で登録した者 編成及び人員は、21 消防団管内ごとに概ね 10 人 計 236 人登録(令和 5 年4月1日現在) 自主的に消防職団員の活動支援にあたるもので、報酬は支払われない。しかし、活動中における怪我及び死亡事故等は、岡崎市消防団員公務災害補償等条例を準用し補償する。</p>	
<p>対象</p> <p>消防支援隊員</p>	
<p>手段</p> <p>消防支援隊の登録・脱退事務 活動のためのジャンパー・ヘルメット・編上靴・皮手袋の貸与及び助言等</p>	
<p>意図・成果</p> <p>大規模災害の発生時に、消防団員も被災者となることが考えられ、活動人員の不足が懸念されることから、この不安解消の対策として、支援隊を編成する。もって、消防活動の円滑化及び被害を軽減し、災害に強いまちづくりを進める。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	- 単位:-			233		233
	- 単位:-					233
定性指標	2022年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2023年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2024年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2024年度達成基準	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図る。				
	2025年度達成基準	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図る。				
指標分析	貸与物品を円滑に管理した。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	412050	495850	443125
	人員(単位:人)	0.05	0.1	0.35

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	自主防災支援					
担当所属	消防本部総務課					
評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	4	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%~10%未満減少 2:0%超~10%未満増加 1:10%以上増加	
	2	2	2	3	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	2	2	3	2	4	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防団連合会補助		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防団体制の整備
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(補助等)
担当所属	消防本部総務課		

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>現在の岡崎市が形成されるまでの町村合併の過程で、各町村の地域防災の担い手である消防団をそのままの形で存続させ、地域防災力の維持・強化を図ってきたことで、現在、21 消防団が本市に設置されている。多団制下では、大規模災害や消防団の管轄を越えての災害時には、消防団相互の円滑な消防団活動が必要であることから、各消防団間の連携及び消防団員の資質の向上・均等化を図るため、消防団連合会を結成している。多団制消防団による活動は、地域の実情に詳しい消防団長が指揮を執ることで迅速的確な災害対応が可能で、地域と密接な関係が構築されていることから要支援者の救助活動にも優れ、自らの地域は自ら守るといふ消防団のモチベーションも高くなり、本市消防行政に不可欠であることから、消防団連合会に対し健全な消防団運営を行うための活動助成を行う。</p>	
<p>対象</p> <p>岡崎市消防団連合会【連合会を形成する 21 消防団、消防団を形成する 106 部(消防団の規模により編成する部の数は一律ではない)及び定員 1,517 人】</p>	
<p>手段</p> <p>消防団連合会に運営費、21 消防団及び消防団を構成する各部(106 部)に運営費を交付する。</p>	
<p>意図・成果</p> <p>消防団員には、年額報酬、出動手当を支給しているが、消防団組織を運営していくために、岡崎市として、消防団連合会を通じて、各団、各部に運営費を交付し消防団活動を支援、健全で地域貢献の高い消防団活動により、消防団に対する住民の理解度を高め、地域における消防団員確保を推進する。(4年度事業)観閲式 理事会(年6回) 消防団員表彰 広報活動(成果) 消防団員の充足率も高い水準で維持され、地域住民の安全・安心な生活を支援している。</p> <p>(事業予算の推移) 平成 25 年度 7,529 千円 26 年度 7,529 千円 27 年度 7,529 千円 28 年度 7,529 千円 29 年度 7,529 千円 30 年度 7,529 千円 31 年度 7,529 千円 令和2年度 7,529 千円 3年度 7,529 千円 4年度 7,529 千円 5年度 7,529 千円 6 年度 7,529 千円</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	消防団員数 単位:人	1471	1478	1472	1517	1517
	消防団員充足率 単位:%	97	97	98	98	98
定性指標	2022年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2023年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2024年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2024年度達成基準	消防団員の充足率を高く維持することで、消防体制を充実し、安全・安心な暮らしを守る。				
	2025年度達成基準	消防団員の充足率を高く維持することで、消防体制を充実し、安全・安心な暮らしを守る。				
指標分析	消防団員の充足率、在籍率とも高値で維持され組織の充実強化は図られている。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	7484593	7487073	7474018
	人員(単位:人)	0.2	0.2	0.2

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	消防団連合会補助
担当所属	消防本部総務課

評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	4	3	3	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	2	3	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	危険物保安連絡協議会運営		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要			
<p>事業概要 消防機関と会員相互の連絡協調を図り、防火思想を普及徹底するとともに、消防設備等の維持管理及び運用に万全を期し、災害の絶無と社会の安全確保を目的としている。令和6年4月1日現在、222 会員</p> <p>対象 岡崎市内の危険物製造所等を有する事業所、一般防火対象物の関係者で組織する各種団体、自衛消防組織を有する事業所など、本会の目的に賛同する事業所で組織されている。</p> <p>手段 ・優良事業所に対する表彰・自衛消防組織に対する教養及び訓練 ・危険物取扱事業所への安全管理思想の啓蒙 ・機械器具取扱講習会、初期消火技術発表会、普通救命講習会等の開催 ・防火思想高揚のための研修会を実施 ・春・秋の火災予防運動への協力</p> <p>意図・成果 危険物保安連絡協議会会員事業所に対し防火意識向上のための啓蒙活動を実施し、社会の安全確保が図れている。</p>			

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	協議会主催行事回数 単位:回	8	8	8	8	8
	- 単位:-					
定性指標	2022年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2023年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2024年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2024年度達成基準	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図る。				
	2025年度達成基準	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図る。				
指標分析	防火、安全管理の事業を実施し、会員事業所における防火思想の普及徹底、安全管理の意識向上を図ることができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	15290	18172	14861
	人員(単位:人)	0.85	0.77	0.77

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	危険物保安連絡協議会運営
担当所属	消防本部予防課

評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	2	2	2	3	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	2	4	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	3	3	3	4	4	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	ポスター・ちらし等配布啓発		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要	
<p>事業概要 ポスター・ちらし等の配布により火災予防に対する意識の向上を図る。</p> <p>対象 岡崎市民</p> <p>手段 ポスター・ちらし等の配布(火災予防運動・消防法令遵守) ・ポスター掲示場所及びちらし配布場所 消防署、消防団、危険物保安連絡協議会、防災防犯協会、婦人自主防災クラブ、市関連施設、市立幼稚園、市立小学校、市立中学校、附属小・中学校、市私立保育園、市役所本庁、市民病院、中央総合公園、老人福祉施設、こどもの家、警察署、郵便局、JAあいち三河、ホテル・旅館業組合、遊技業組合、医師会、歯科医師会、すし組合、岡崎信用金庫、名鉄駅、ユニチカ、その他事業所、住宅防火訪問場所、市政情報コーナー、各種イベント、商工会議所、消防用設備業者等</p> <p>意図・成果 年間を通じて、市民に対し、幅広く火災予防のPRを行い、防火防災意識の高揚を図る。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	配布枚数 単位:枚	15000	15000	16200	16200	16000
	- 単位:-					
定性指標	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和されたものの、職員の対応は緩和されることがなかったため、イベントの参加回数が見込めなかったため、SNSなどの広報手段も活用し、火災予防の普及啓発を図る。立入検査等においては、各事業所関係者等へちらし、パンフレット等を配布することで、法令遵守の広報を実施することができた。				
	2023年度達成結果	多数のイベントに参加することができ、前年度以上の実績を残せた。また、HP、SNS のみならず、火災予防に関する募集イベントを企画し、広く周知することができた。 立入検査では、違反指導を積極的に実施するとともに、法令遵守のチラシやパンフレットを用い、多くの事業所に理解を求めることができた。				
	2024年度達成結果	イベント数の増加に伴い住宅防火に関するパンフレット、消防本部公式 Instagram 登録者へ配布する啓発品は年度末を迎える前に不足状態であった。Instagram は年々登録者が増加していることから効果が出ていると実感できた。 消防法遵守ポスターは企画課と連携し、各金融機関に掲示に至った。事業主が融資を受ける際に目を向けることで、その効果を得るのを期待したものである。 立入検査では、引き続き違反指導を積極的に実施するとともに、法令違反のチラシやパンフレットを用い、多くの事業所に理解を求められている。				
	2024年度達成基準	前年度以上のイベントに参加し、広く火災予防を周知するとともに、火災予防に関する募集イベントを企画し、更なる飛躍を目指す。また、火災予防パンフレットを利用し、一人暮らし高齢者への住宅防火訪問を強化する。 立入検査・違反指導の強化を図るため、ポスターの掲出を実施し、更に多くの事業所に理解を得られるようにする。				
	2025年度達成基準	事業所及び他部局と連携し広くイベントに参加し、火災予防を周知するとともに、より多くの方に情報が届けられるよう Instagram の登録者を増やしていく。引き続き、火災予防パンフレットを利用し、一人暮らし高齢者への住宅防火訪問を強化する。 立入検査・違反指導の強化を図るため、チラシの配架を実施し、更に多くの事業所に理解を得られるようにする。				
指標分析	事業所等におけるポスター掲示に際して、予算化前に調整し掲示が可能かどうか確認すべきであった。消防側の思いだけではただの押し付けとなることもある。 ちらし、パンフレット等を配布することで、事業者及び市民に直接消防法の順守や火災予防の普及啓発を図ることができているため、今後も積極的にイベントなどに参加し広報をする。					

コスト	2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算	
	事業費等(単位:円)	652421	635426	765677
	人員(単位:人)	1.35	1.1	1.1

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	ポスター・ちらし等配布啓発
担当所属	消防本部予防課

評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	1	3	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	2	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	少年消防クラブ指導・育成		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>岡崎市少年消防クラブは、昭和26年各町単位として自主的に結成され、火の用心、夜回り、防火ポスター・習字等の展示などの火災予防活動を行っていたが、昭和43年3月に各クラブの連絡協調を図るため、各小中学校単位に連合クラブが組織された。連合クラブの組織に伴い各クラブの運営の助言、指導をする岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会が設立、現在に至っている。また、平成26年4月には、幼年期からの防火・防災教育及び少年少女を中心とした防災活動に参加できる基礎をつくるため、市内の各保育園、幼稚園及びこども園において岡崎市幼年消防クラブが結成された。</p> <p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年消防クラブ員・幼年消防クラブ員 <p>手段</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年・幼年消防クラブに対する運営指導 1日消防士体験 県消防学校1日入校 防火作品の応募・表彰 ジュニア消防士検定 消防教室、防災講習会等の開催支援 <p>意図・成果</p> <p>少年・幼年消防クラブの運営指導を行うことにより防火防災思想の啓蒙を図る。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	防火作品応募数 単位:枚	230	200	194	332	332
	幼年クラブ活動実施園数 単位:%					50
定性指標	2022年度達成結果	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 230 点の募集があった。以前、目標値を下回る結果となった。				
	2023年度達成結果	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 200 点の募集があった。以前の目標をさらに下回る結果となった。 この結果をもとに、教育委員会と連携を密にとり、少年消防クラブの活動の意義を教職員に理解してもらう共に、多くの出展が得られるような業務改善を図った。				
	2024年度達成結果	募集期間中に提出された防火作品は 194 点であり、昨年度より更に下回る結果となった。 応募作品の中から、愛知県知事賞(特選)、愛知県消防協会長賞(準特選)の入賞があった。				
	2024年度達成基準	業務改善の結果として即効性は求められないが、徐々に応募点数を目標値に近づける。また、積極的に学校へ赴き、少年消防クラブの活動を広く周知していける環境を構築する。				
	2025年度達成基準	昨年度の募集点数を上回るとともに、応募がない学校をなくし、達成基準に到達できている。				
指標分析	応募点数の減少の背景には、児童・生徒に上手く情報が届いていなかったことが判明した。次年度に向けて、教育委員会担当者と年度当初及び募集案内発送前に連携し、全ての児童・生徒に募集案内が届くように改善を図る。 また、各校に応募点数の上限を設けていたため、来年度はこの上限を撤廃し募集を依頼する。					

コスト	2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算	
	事業費等(単位:円)	477101	434163	349622
	人員(単位:人)	1	0.7	0.7

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	少年消防クラブ指導・育成
担当所属	消防本部予防課

評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	4	2	1	3	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%~10%未満減少 2:0%超~10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	1	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	3	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	各種イベント等火災予防啓発		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>毎年春と秋に火災予防運動を実施するだけでなく、年間を通じ各種イベントに参加し、火災予防思想の普及啓発を行うとともに、防火安全対策についての指導を行う。また、住宅火災による死者数は建物火災による死者の約9割を占めており、高齢者の占める死者数の割合が極めて高いことから、ひとり暮らし高齢者の住宅防火訪問等を年間を通して実施する。</p> <p>対象</p> <p>岡崎市民、ひとり暮らし高齢者</p> <p>手段</p> <p>・住宅防火訪問を実施 ・防災講習会等を実施 ・火災予防運動期間中に、各署所が消防車両で巡回しながら広報宣伝を実施 ・各種イベントにて岡崎市消防本部のキャラクター「レッサー君」とともに火災予防を啓発</p> <p>意図・成果</p> <p>・消防職員が直接ひとり暮らし高齢者の住宅を訪問することで、身体面や生活状況に応じた防火指導ができ、防火の気づきを与えることができる。・防災講習会において、住宅用火災警報器の設置状況、作動点検、設置後10年の機器取替えを促すことで、より安全安心に暮らすことができる。・消防車両で広報宣伝しながら地域巡回することで、視覚と聴覚に訴え、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生抑止につなげる。・各種イベントに積極的に参加することで、市民一人一人に消防に対する理解と認識を深めてもらうとともに、防火・防災意識の高揚を図り、「快適で安全な住みよい岡崎市」を推進する。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	住宅防火訪問実施件数 単位:件		121	415	400	500
	単位:					
定性指標	2022年度達成結果	新型コロナウイルスの影響により実施なし				
	2023年度達成結果	事業者・庁内各課の主導するイベントに積極的に参加することで、イベントの幅を広げていくことができた。住宅防火訪問は、期間限定ではなく通年実施し、121件の一人暮らし高齢者宅を訪問することができた。また、訪問することの効果を感じることができたため、来年度は更に多くの訪問ができるようにする。				
	2024年度達成結果	昨年度以上に、事業者・庁内各課の主導するイベントに参加することができた。また、企画課の執り進める包括協定を活用し、広く事業所と連携できた。庁内連携の賜物だと成果を感じることができた。住宅防火訪問は、期間限定ではなく通年実施し、415件の一人暮らし高齢者宅を訪問することができた。				
	2024年度達成基準	事業者・庁内各課の主導するイベントに積極的に参加することで横のつながりを構築できたことから、出展依頼が経常的になった。これを利用し、更なる業務拡大に繋げていきたい。本年度は秋祭りの参加を再開し、広く火災予防を周知する。住宅防火訪問に関しては、400件を目標に実施する。				
	2025年度達成基準	更なる事業連携及び庁内連携を実施し、広報の場を拡充する。また、岡崎市消防本部マスコットキャラクターレッサーくんの知名度を上げ、広報効果に相乗効果を与えることができている。住宅防火訪問では、福祉部及び地域包括支援センター並びに民生委員連絡協議会と連携し、高齢者が一堂に会する機会に参加できるように更なる連携ができている。				
指標分析	<p>昨年同様、事業所・庁内各課と連携し、更なる啓発の場を増やすことができた。他事業との連携は、今までのターゲットとは違う市民が来るため、広報効果が高いことから、今後も積極的に連携すべきである。全てが他部局からの声かけのもと始まっていることから、更に庁内連携の輪を広げることに重点を置く。</p> <p>住宅防火訪問については、1人での訪問数に限界が生じているため、高齢者が集う場を狙い広報を実施していくことが必要である。</p>					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	0	0	0
	人員(単位:人)	0	1.2	1.2

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	各種イベント等火災予防啓発					
担当所属	消防本部予防課					
評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	1	2	4	4	4
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%~10%未満減少 2:0%超~10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	4	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	4	3	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	女性防災クラブ運営		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要	
事業概要	<p>昭和56年8月に婦人自主防災クラブが結成(3クラブ 60人)し、活動を開始した。婦人自主防災クラブは、自主的に組織された防災組織で、家庭や地域における防火・防災の知識や怪我等に対する応急処置の方法を身につけ、災害などの被害を軽減を図るとともに、地域の防災リーダーとして地域住民の防火思想の普及及び高揚に資することを目的としている。</p>
対象	30クラブ 532人(令和6年4月1日現在)
手段	女性防災クラブの運営に必要な資機材、被服等を貸与
意図・成果	女性防災クラブの運営に必要な資機材被服等を貸与することにより、円滑な活動を図る。

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	- 単位:-					
	- 単位:-					
定性指標	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和され、応急手当普及員講習が再開され、活動可能な普及員の増加された。また、広報活動を通じて家庭内防火及び家庭内救急の必要性は訴えることができた。				
	2023年度達成結果	クラブ数の減少・女性消防団員の推進など、クラブの存続、女性消防団員とのすみわけなど多くの課題を抱える中、多くのクラブ員が積極的に応急手当普及員講習の資格取得を促すことができた。さらに地域でのイベントなどにおいて、クラブ活動を披露し、活動の向上、推進をすることができた。				
	2024年度達成結果	昨年同様、更なるクラブ数の減少・女性消防団員の推進など、クラブの存続、女性消防団員とのすみわけなど多くの課題を抱える実情は打開できなかった。しかし、活動に関してはクラブ員などの意見を取り入れ、外部講師を招きガス機器などの防火対策をご教授いただいた。家庭内防火について再認識するなど、有意義な活動ができた。				
	2024年度達成基準	クラブ数の減少の波を抑えるため、クラブ活動が有意義に実施できる環境づくりに努めていきたい。また、クラブ活動が市民に周知できるようイベントへの共同参加を増やし、活動の意義を訴えていきたい。				
	2025年度達成基準	クラブ員からの意見要望を取り入れた活動を行うことにより、より多くの知識技術を身に付けることで、クラブ活動の意義を見出してもらえるように、創意工夫を凝らした研修活動ができています。				
指標分析	働く女性が増えたことがクラブの減少に繋がっている。日本の経済事情を加味すると致し方ない状況である。少ない時間の中、今後も講習会、各種会議、研修会等を積極的に実施し、クラブの存在意義を訴え、地域での活発な活動を促す必要がある。また、クラブ員が活動しやすいように、意見要望を取り入れた活動にしていく必要がある。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	509220	548732	571605
	人員(単位:人)	0.55	0.65	0.65

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	女性防災クラブ運営					
担当所属	消防本部予防課					
評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	2	1	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%~10%未満減少 2:0%超~10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	1	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある		
4	4	4	3	2		

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	女性防災クラブ連絡協議会補助		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	岡崎市女性防災クラブ連絡協議会補助金交付要綱		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(補助等)
担当所属	消防本部予防課		

事業概要	
事業概要	<p>昭和56年8月に婦人自主防災クラブを結成(3クラブ 60人)し、活動を開始した。女性防災クラブは、自主的に組織された防災組織で、家庭や地域における防火・防災の知識や怪我などに対する応急処置の方法を身に付け、災害などの被害を軽減を図るとともに、地域の防災リーダーとして地域住民の防火思想の普及及び高揚に資することを目的としている。</p>
対象	30クラブ 532人(令和6年4月1日現在)
手段	女性防災クラブ連絡協議会が開催する新クラブ員消防教室、クラブ活動研修会、応急手当訓練、炊き出し訓練等に対する助成
意図・成果	<p>「災害のない明るい街づくり」を目指し、火災予防の知識や日常起こりうる急病、怪我などに対する応急処置の方法を身につけることにより、火災等から生命財産を保護し、被害の軽減を図るとともに防災リーダーとして、地域住民の防災思想の普及及び高揚に資することを目的とする女性防災クラブの活動を促進する。</p>

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	女性防災クラブ普通救命講習受講者数 単位:人	360	336	346	300	300
	- 単位:-					
定性指標	2022年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和されたことにより、普通救命講習会が増加され、目標値を大きく上回った。				
	2023年度達成結果	目標とする普通救命講習の受講者数より多少上回った。				
	2024年度達成結果	昨年度を上回るクラブ員が積極的に応急手当普及員講習の資格取得をすることができた。会長会議の際、クラブ活動の意義について説明をしたことによるクラブ員の意識の高まりを感じる結果となった。				
	2024年度達成基準	継続して普通救命講習の実施人数の増加を促すとともに、集合型の研修を増やし、コロナ禍で蓄えた知識を体を動かし、より濃い知識としていきたい。				
	2025年度達成基準	毎年の様に異常気象などで予測のつかない急病者が出る中、いつ何時、クラブ員がバイスタンダーになり得るかわからない状況を伝え、更なる受講者を募り、目標値を達成することができている。				
指標分析	目標値を下回ることなく受講できていることから、今後においても、クラブの意義を伝えつつ、引き続き活動を推進する。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	1378458	1398478	1410790
	人員(単位:人)	0.55	0.55	0.55

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	女性防災クラブ連絡協議会補助
担当所属	消防本部予防課

評価	改善余地					
	市職員ならでのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	4	2	2	1	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%～10%未満減少 2:0%超～10%未満増加 1:10%以上増加	
	4	4	4	1	3	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
	4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある	
	4	4	4	3	2	

令和7年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防団観閲式		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防団の管理
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(一部委託)
担当所属	消防本部消防救急課		

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>複雑多様化する各種災害と諸般の要求に応えるため、防災活動の中核をしめる消防団員を一堂に会し、消防の団結と士気を高め、合わせて消防防災体制の充実と防災意識の高揚を図るため、各ブロックで消防団観閲式を開催していましたが、平成12年から乙川河川敷で消防団連合観閲式として毎年11月に開催、令和6年度からは消防出初式と合同開催とし毎年1月に開催されている式典。</p> <p>対象</p> <p>岡崎市消防団員 1,413 人(機能別消防団除く)</p> <p>手段</p> <p>全団を乙川河川敷に集結させ、功績のあった消防団員及び消防団の表彰、ポンプ車、小型ポンプ積載車など約90台の一斉放水を実施する。</p> <p>意図・成果</p> <p>消防出初・観閲式を実施し、訓練披露、消防団員の表彰を実施することにより消防団員の士気の高揚をはかり、消防団活動の一層の推進を図るとともに、市民の防火意識を高める。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2022年度実績値	2023年度実績値	2024年度実績値	2024年度目標値	2025年度目標値
	参加人員 単位:人	462	540	1400	950	0
	- 単位:-					
定性指標	2022年度達成結果	感染症対策も施しながら、屋外で式典のみならず、車両を用いた分列行進及び一斉放水を実施した。				
	2023年度達成結果	乙川河川敷において、式典、小型ポンプ操法披露、車両による分列行進及び一斉放水を実施した。				
	2024年度達成結果	2024年度から、出初式と合同開催とし、乙川河川緑地において、第1部として式典、第2部として消防パレード及び一斉放水を実施した。				
	2024年度達成基準	昨年同様、晴天時には屋外で式典、ポンプ操法、分列行進及び一斉放水、雨天時は屋内で式典を行い、消防団員の士気の高揚を図る。				
	2025年度達成基準	昨年同様、出初式と合同開催とし、晴天時には屋外で式典、消防パレード及び一斉放水、雨天時は屋内で式典を行い、消防団員の士気の高揚を図る。				
指標分析	出初式と合同開催としたことで、消防団員の負担軽減を図りながらも、第1部を式典、第2部を消防フェスタと位置づけたことで、より市民に身近な消防組織をアピールすることができた。					

コスト		2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
	事業費等(単位:円)	2895967	3028614	652433
	人員(単位:人)	1.75	2.7	1.75

令和7年度 業務活動評価表

業務活動名	消防団観閲式					
担当所属	消防本部消防救急課					
評価	改善余地					
	市職員ならではのノウハウが必要である。	民間事業者、市民団体等と連携して行う余地はない。	単純な事務作業や入力作業は少ない。	紙の書類の取扱いは少ない。	庁内外からの電話対応や窓口対応は少ない。	勤務時間内に処理できている。(時間外勤務が少ない。)
	4:必要である 3:おおむね必要である 2:あまり必要ない 1:必要ない	4:連携の余地はない 3:あまり連携の余地はない 2:ある程度連携の余地がある 1:連携の余地がある	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:少ない 3:やや少ない 2:やや多い 1:多い	4:常にできている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:全然できていない
	3	3	2	1	2	3
	有効性・効率性					
	業務内容は市民の権利・生命・財産の保護に直結している。	他業務に優先して行う必要がある。	民間企業等では同様のサービスが提供されていない。	この業務を廃止した場合に市民生活やまちづくりに大きな影響がある。	コストの削減が図られている。	
	4:直結している 3:おおむね直結している 2:あまり直結していない 1:直結していない	4:必要がある 3:おおむね必要がある 2:あまり必要がない 1:必要がない	4:提供されていない 3:あまり提供されていない 2:おおむね提供されている 1:提供されている	4:大きな影響がある 3:少し影響がある 2:あまり影響はない 1:影響はない	4:10%以上減少 3:0%~10%未満減少 2:0%超~10%未満増加 1:10%以上増加	
	3	3	4	2	4	
	リスク管理					
	業務手順が確立されている。	チェック・確認体制が整っており、かつ、機能している。	業務の進捗状況が管理されている。期限内に業務が完了できている。	部署内で必要な情報が共有されている。	長年解決されていない(あるいは着手されていない)問題はない。	
4:確立されている 3:おおむね確立されている 2:あまり確立されていない 1:確立されていない	4:機能している 3:おおむね機能している 2:あまり機能していない 1:機能していない	4:できている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:できていない	4:共有されている 3:おおむね共有されている 2:あまり共有されていない 1:共有されていない	4:問題はない 3:あまり問題はない 2:やや問題がある 1:問題がある		
4	4	4	4	3		